Techno Medica

2013年3月期
決算説明会

2013年5月15日

代表取締役会長兼社長
實吉　繁幸

目次

Techno Medica

	ページ
2013年3月期決算	…… 3−16
当社の経営戦略	……18−25

Techno Medica

2013年3月期決算

2013年3月期決算−1

Techno Medica

経営環境（中期的なトレンド）

- 経営の効率化・リスクマネジメント強化、医療のIT化
- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制及び業務効率化への動き拡大 ⇒ 新市場 ⇒ この市場へ積極的に新製品（ROBO・検体検査装置・ヘルスケア）を投入
- ROBOの国内市場開拓率：大病院 70％、中病院 14％
- 輸出：新市場の開拓と既存市場の拡充（特に成長期入り市場）

前期の経営環境

- ROBOの更新需要捕捉・・・新製品（ROBO-8000RFID）が貢献
- 年末までの円高・現地通貨安、ユーロ危機・・・案件小型化

2013年3月期決算−2

Techno Medica

主な取組み

➢ROBO

大病院　⇒更新需要の捕捉
中病院　⇒新規開拓の加速
健診センター ⇒販路拡大
⇒ 粗利率を維持しつつ 新たな市場を開拓

➢検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院へも販路拡大

➢輸出

円高・現地通貨安、ユーロ危機等あり、キメ細かく案件捕捉

➢新製品

- 検体情報統括管理システムを搭載したROBO−8000RFID
- 静脈可視化装置：ROBOと併売、麻酔科・小児科へ販売
- 酸化ストレスマーカー：小児科,NICU,健診,クリニック、研究室等
- 2012年10月、ヘルスケア分野の新製品アミノサイン®投入

2013年3月期決算−3

Techno Medica

決算サマリー

	2012年 3月期		2013年 3月期		
	金額（百万円）	百分比（％）	金額（百万円）	百分比（％）	前年同期比（％）
売 上 高	7,980	100.0	8,151	100.0	+ 2.1
（期初見通し）	(8,225)	(100.0)	(10,000)	(100.0)	
（3/18修正見通し）			(8,124)	(100.0)	
営 業 利 益	1,828	22.9	1,940	23.8	+ 6.1
（期初見通し）	(1,644)	(20.0)	(2,000)	(20.0)	
（3/18修正見通し）			(1,906)	(23.5)	
経 常 利 益	1,831	22.9	1,944	23.9	+ 6.2
（期初見通し）	(1,647)	(20.0)	(2,000)	(20.0)	
（3/18修正見通し）			(1,908)	(23.5)	
純 利 益	1,074	13.5	1,243	15.3	+ 15.7
（期初見通し）	(978)	(11.9)	(1,200)	(12.0)	
（3/18修正見通し）			(1,144)	(14.1)	
１株当り純利益（円）	36,795	----	42,594	----	+ 15.8
１株当り純資産（円）	310,667	----	344,461	----	+ 10.9

採血管準備装置で粗利率改善。販管費の開発費・支払手数料の期ずれ

2013年3月期決算−4

Techno Medica

品目別売上高

（単位：百万円）

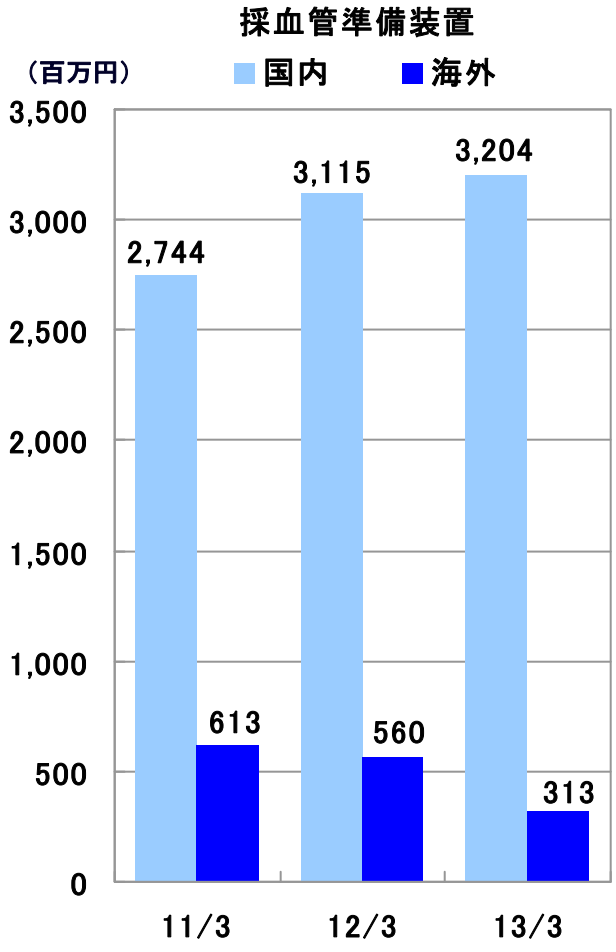
	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2013年 前期比（％）
採血管準備装置	2,991	3,357	3,675	3,516	△ 4.3
構成比（％）	42.4	44.4	46.1	43.1	----
検体検査装置	770	660	657	770	+ 17.2
構成比（％）	10.9	8.7	8.2	9.4	----
消 耗 品 等	3,091	3,282	3,450	3,663	+ 6.2
構成比（％）	43.8	43.4	43.2	44.9	----
そ の 他	201	258	197	201	+ 2.0
構成比（％）	2.9	3.4	2.5	2.5	----
合 計	7,055	7,559	7,980	8,151	+ 2.1

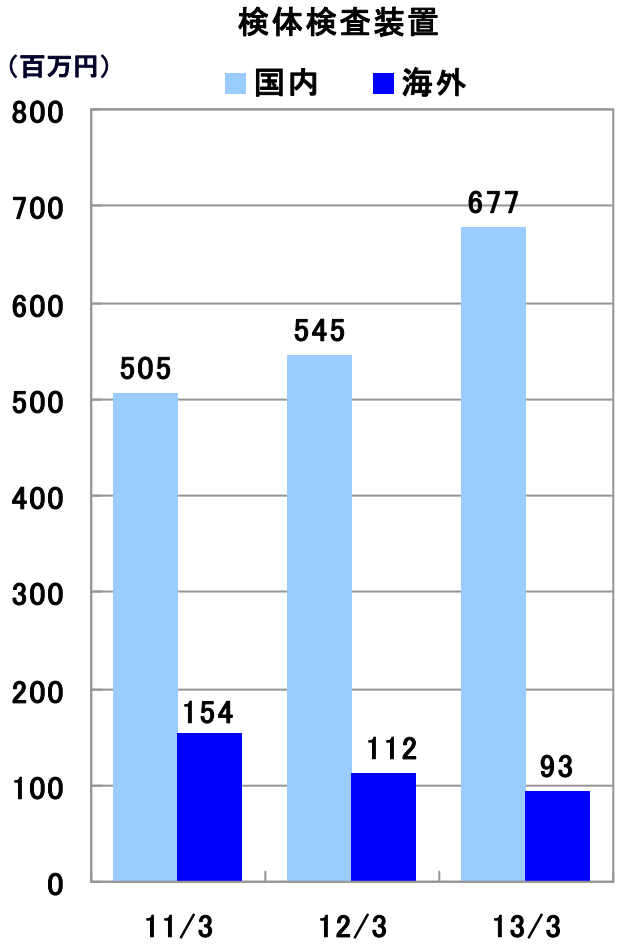
簡易電解質測定器の売上増あり、検体検査装置で前期比売上拡大

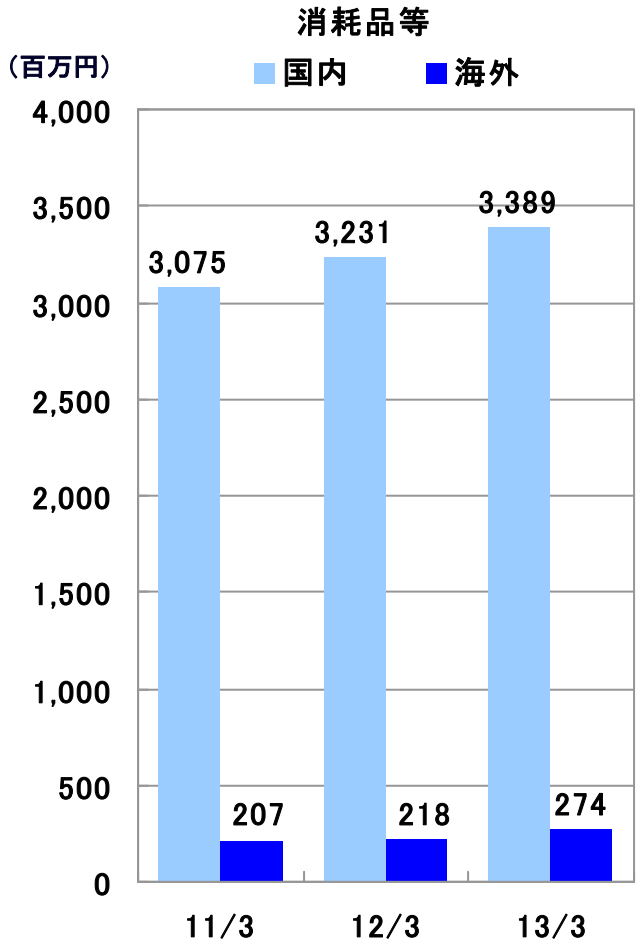
2013年3月期決算−5

Techno Medica

品目別売上高（国内・海外別）





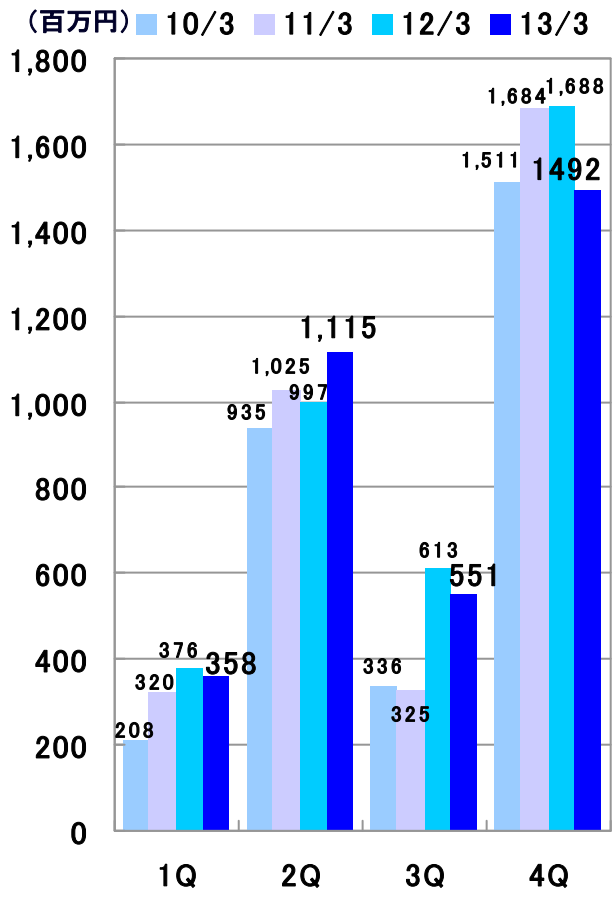


2013年3月期決算−6

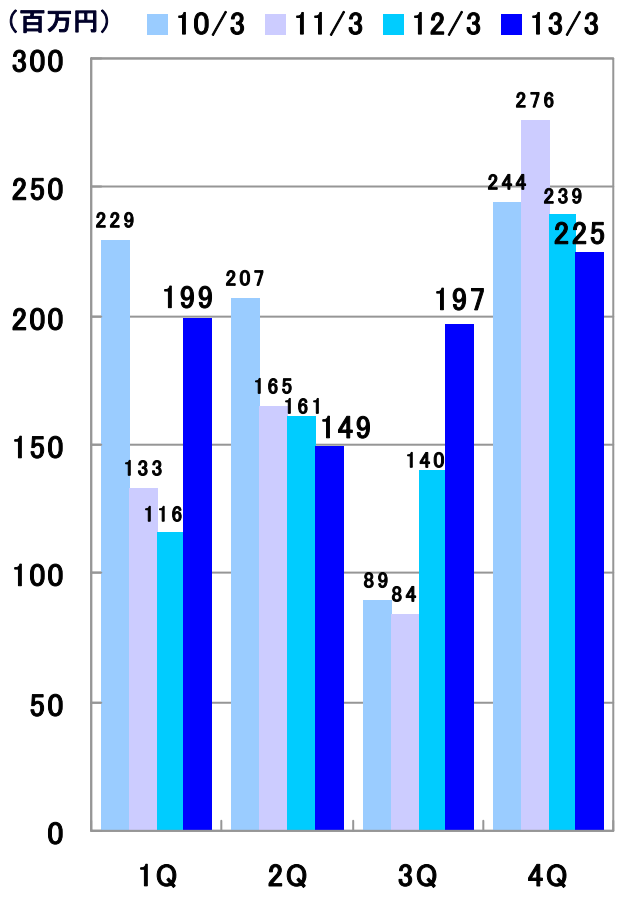
Techno Medica

品目別売上高（四半期別）

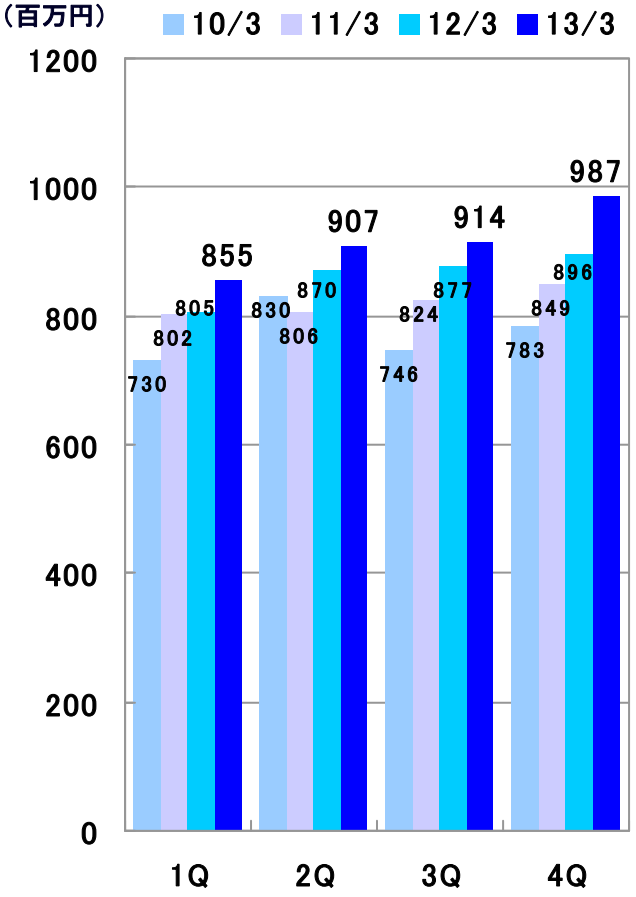
採血管準備装置



検体検査装置



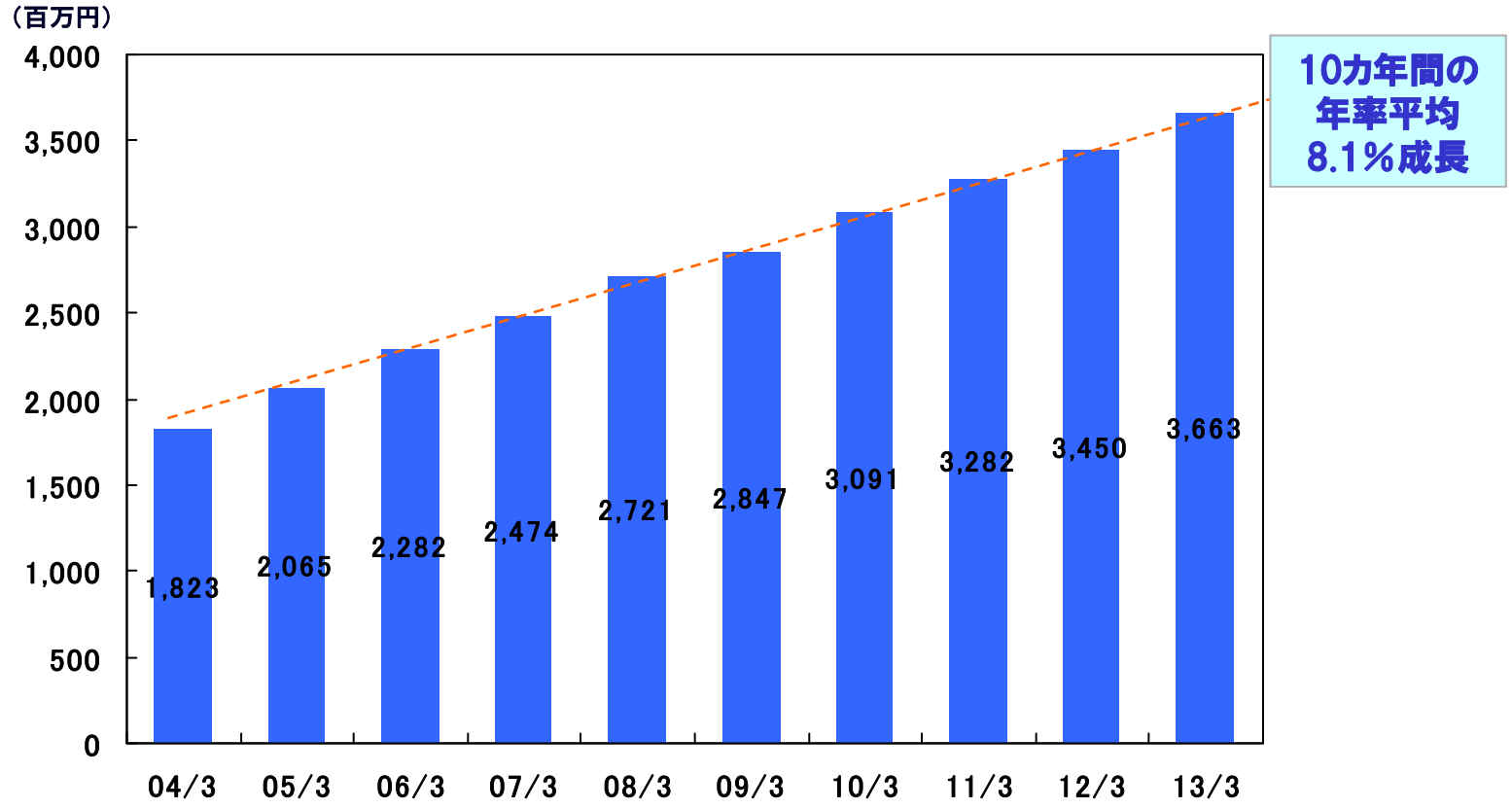
消耗品等



2013年3月期決算−7

Techno Medica

消耗品等の売上高推移（過去10年度）



Techno Medica

採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
納入施設数	245	272	261
国　内	174	204	208
（中間決算時見通し）			(261)
内、新規	66	67	67
（中間決算時見通し）			(98)
内、更新	108	137	141
（中間決算時見通し）			(163)
輸　出	71	68	53

・国内の納入推移（含む更新）

	10/3	11/3	12/3	13/3
大病院	68%	72%	72%	78%
中病院	31%	26%	26%	21%
その他	1%	1%	1%	1%

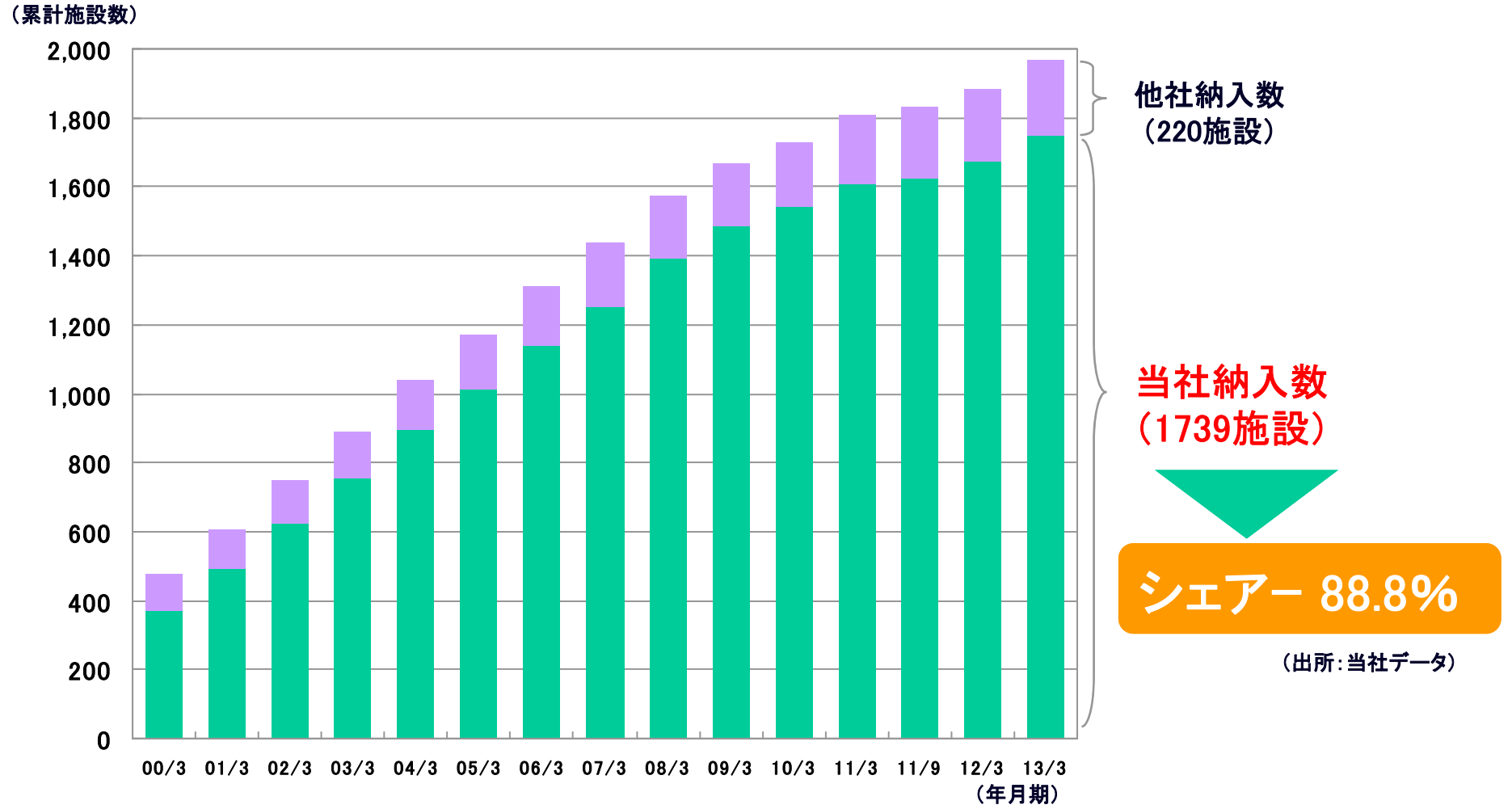
・平均納入単価（国内＋輸出）
‘13/3：13.5百万（前期：13.5）

・国内：更新、計画比伸び悩み
粗利率 1%弱改善（前期比）

・輸出：計画比、低調。全地域で
円高・現地通貨安で成約数減少

Techno Medica

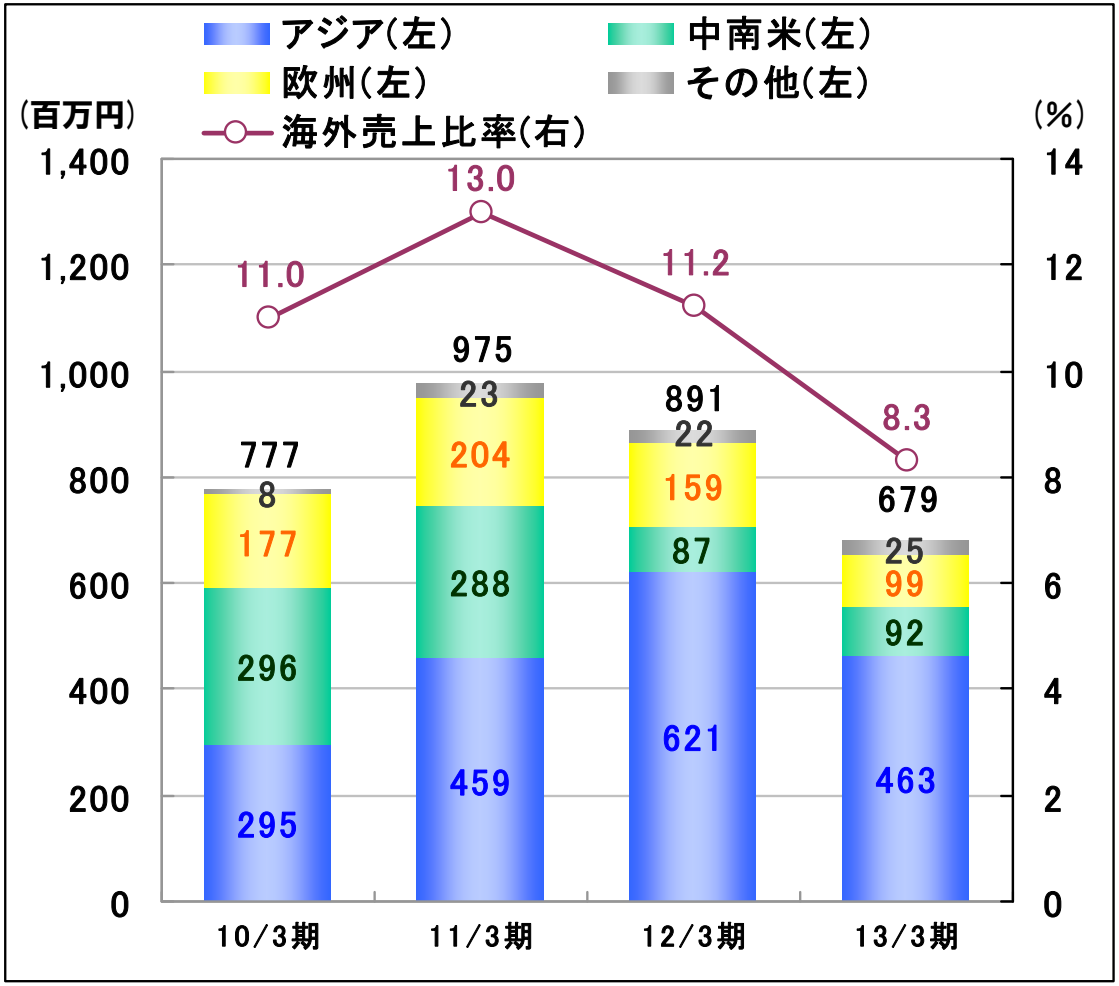
採血管準備装置－納入施設の推移



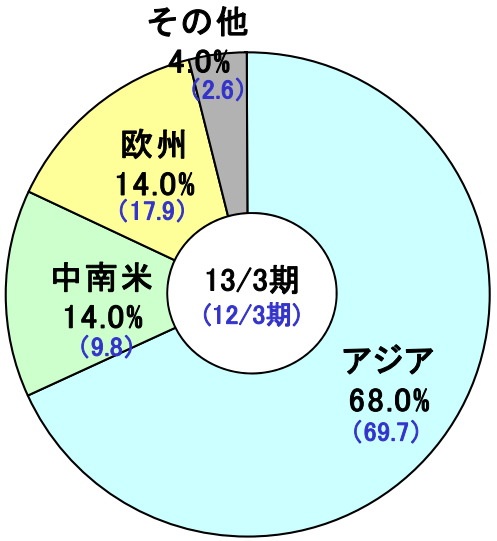
2013年3月期決算−10

Techno Medica

海外売上高



地域別の売上構成比



2012/3月期:
ROBO/アジアで上伸、中南米で減少

2013/3月期:
消耗品を除き、全地域で前期比　減少

2013年3月期決算−11

Techno Medica

要約損益計算書

（単位：百万円、％）

	2012年3月期		2013年3月期		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	7,980	100.0	8,151	100.0	＋ 2.1
売上原価	3,912	49.0	3,953	48.5	＋ 1.0
売上総利益	4,068	51.0	4,197	51.5	＋ 3.2
販売管理費	2,239	28.1	2,257	27.7	＋ 0.8
営業利益	1,828	22.9	1,940	23.8	＋ 6.1
営業外損益	2	0.0	4	0.0	＋ 100.0
経常利益	1,831	22.9	1,944	23.8	＋ 6.2
特別損益	0	0.0	0	0.0	――
法人税、調整額等	756	9.5	707	8.7	△ 6.5
当期純利益	1,074	13.5	1,243	15.2	＋ 15.7

Techno Medica

要約貸借対照表【資産の部】

	2012年3月末 金額（百万円）	2012年3月末 構成比（％）	2013年3月末 金額（百万円）	2013年3月末 構成比（％）	2013年3月末 増減額（百万円）
流動資産	10,415	86.8	11,207	87.5	+ 792
現預金	4,662		5,516		+ 854
売上債権	4,226		4,005		△ 221
棚卸資産	1,459		1,623		+ 164
その他流動資産	66		62		△ 4
固定資産	1,588	13.2	1,601	12.5	+ 13
有形固定	1,265		1,319		+ 54
無形固定	6		5		△ 1
投資等	316		276		△ 40
資産合計	12,004	100.0	12,809	100.0	+ 805

Techno Medica

要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2012年3月末 金額（百万円）	2012年3月末 構成比（%）	2013年3月末 金額（百万円）	2013年3月末 構成比（%）	2013年3月末 増減額（百万円）
流動負債	2,582	21.5	2,434	19.0	△ 148
買入債務	1,603		1,609		+ 6
短期有利子負債	100		0		△ 100
その他流動負債	878		825		△ 53
固定負債	350	2.9	315	2.5	△ 35
長期借入金	0		0		+ 0
その他固定負債	350		315		△ 35
負債合計	2,933	24.4	2,750	21.5	△ 183
純資産合計	9,071	75.6	10,058	78.5	+ 987
負債・純資産合計	12,004	100.0	12,809	100.0	+ 805

Techno Medica

要約キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

	2012年3月期	2013年3月期	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	732	1,282	+ 550
投資活動によるキャッシュ・フロー	58	△ 192	△ 250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 222	△ 357	△ 135
現金・現金同等物の増加額	568	732	+ 164
現金・現金同等物の期首残高	2,618	3,186	+ 568
現金・現金同等物の期末残高	3,186	3,919	+ 733
研究開発費	513	478	△ 35
設備投資実施額	1	87	+ 86
減価償却実施額	38	41	+ 3

TMC Techno Medica

当社の経営戦略

当社の経営戦略−1

Techno Medica

2014年3月期業績見通し

	2013年3月期		2014年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（％）	金額（百万円）	百分比（％）	前期比（％）
売上高	8,151	100.0	9,400	100.0	+ 15.3
営業利益	1,940	23.8	2,000	21.3	+ 3.1
経常利益	1,944	23.8	2,005	21.3	+ 3.1
当期純利益	1,243	15.2	1,282	13.6	+ 3.1
研究開発費	478	5.9	482	5.1	+ 0.8
設備投資額	87	1.1	155	1.6	+ 78.2
減価償却費	41	0.5	59	0.6	+ 43.9

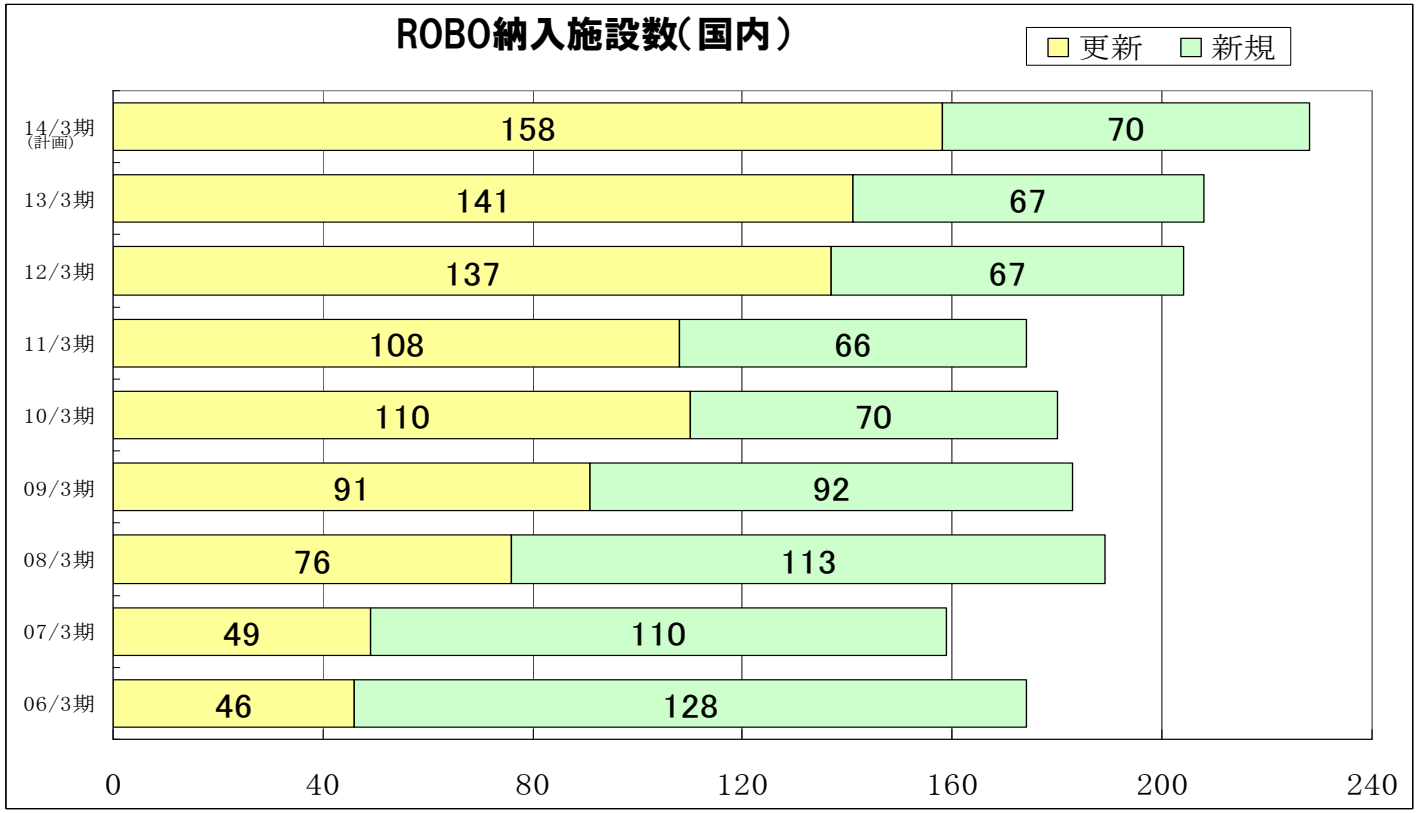
当社の経営戦略−2

Techno Medica

今期の課題①

➢ROBO

- 引続き更新需要（大病院向け）の着実な捕捉
- 高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市

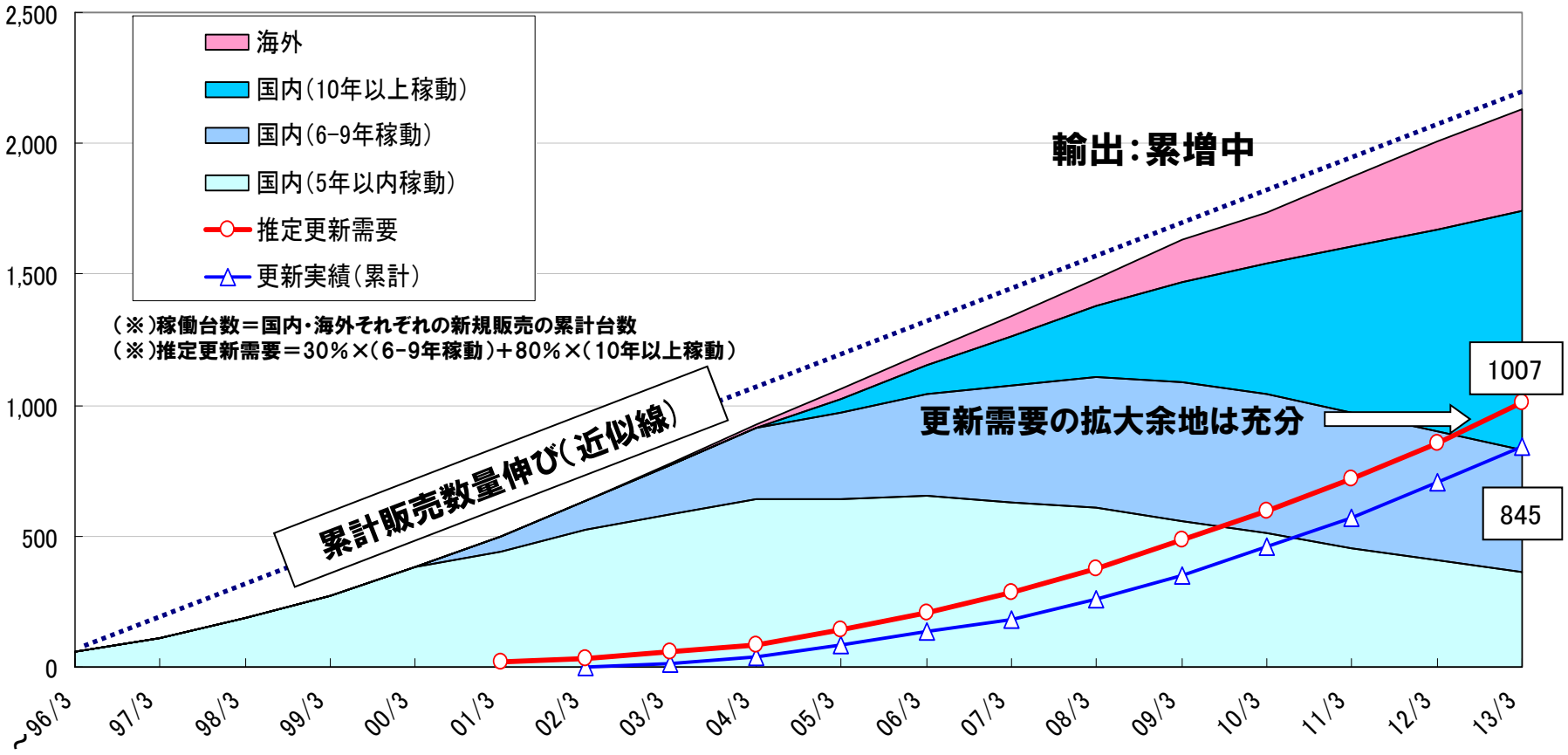


当社の経営戦略−3

Techno Medica

（施設数）

ROBO：稼動台数及び更新需要の推移



当社の経営戦略−4

Techno Medica

今期の課題②

➢新市場を作る新製品販売強化

- BC・ROBO-8000 RFID
- UA・ROBO-1000AD
- 新型静脈可視化装置「StatVein」
  小児科・麻酔科等の新規販路開拓
- 酸化ストレスマーカー
  新規販路開拓（大学の研究室等）
- ヘルスケア新製品
  アミノサイン®・・・必須アミノ酸リジン測定
  現代型低栄養の発見



BC・ROBO
8000 RFID

全自動尿分析・分取装置
「UA・ROBO 1000 AD」



非接触型静脈可視化装置
「StatVein」





当社の経営戦略－5

Techno Medica

今期の課題②－続き



血液ガス分析装置
「G-1800シリーズ」

➢検体検査装置

- 後継新製品 血液ガス分析装置「G-1800シリーズ」 の販売強化
- 簡易電解質測定装置の販売
- 電解質Na、K専用測定装置の量産製造開始（製造受託）

➢輸出

- 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化

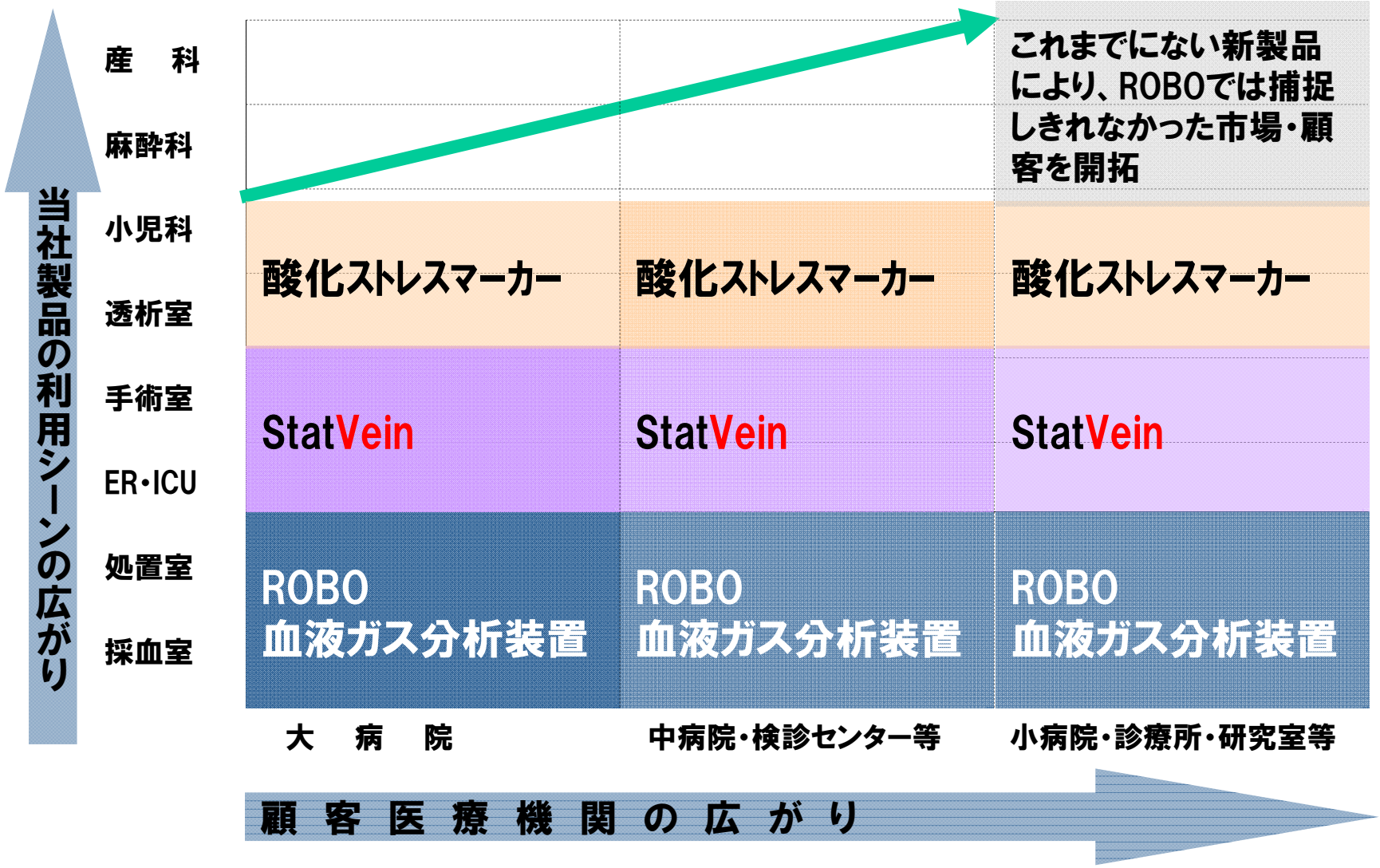
・新興国＋先進国で新市場の開拓

・ユーロ危機等あり資金回収の確実性確保

当社の経営戦略−6

Techno Medica

新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



当社の経営戦略−7

Techno Medica

前中期事業計画(2011/3期～2013/3期)の総括

	2011/3	2012/3	2013/3	達成
増収率 (目標:15%)	7.1%	5.6%	2.1%	×
経常利益率 (目途:20%)	19.3%	22.9%	23.9%	○

① 市場創出型新製品の上市
② ヘルスケア事業の飛躍的拡大
③ 国内ROBO更新需要の確実な捕捉
④ 輸出売上の拡大

①については、独創性ある新製品を継続的に上市。
↓
②～④の実現に向けた基礎固めを完了

当社の経営戦略−8

Techno Medica

中期事業計画（2014/3期～2016/3期）

最重要テーマ

- スケールアップ
  - 売上高伸び率目標　　前年比＋15.0％
- 高収益率
  - 売上高経常利益率　　毎期20％を確保

課題と施策

① 継続的な市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
② ヘルスケア事業の飛躍的拡大
③ 国内ROBO更新需要の確実な捕捉
④ 輸出売上の拡大

＜注意事項＞

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。